

2. 経済産業省

訪問地である、イタリア（ミラノ）、ギリシャ（アテネ）、イギリス（ロンドン）の国勢状況、経済状況、産業状況、オリンピック開催状況および日本との関わり等の事前調査のため、経済産業省を訪問し、松島みどり経済産業副大臣、ジェットロ職員から詳しく説明を受け、意見交換を行った。

ミラノについては、経済的な南北格差があるイタリアにあって、イタリア経済を支える重要な地位を占めていること、都市国家のひとつであった独立性の高い都市であり、多くの日本企業も進出していること、特にデザイン力を重視したアパレル、インテリア関連産業が集中しており、国際的な展示会が多く開かれていることなどミラノ市の状況について説明を受けた。また、2015年の万国博覧会の開催が決定しており、その準備が進められていることなどの説明も受けた。

アテネについては、オリンピック開催以降、特に財政的に厳しい状況にあること、ユーロ圏に留まるかどうか政治的に揺れている状況、産業的には地理的特性を生かして海運事業が盛んであることなどの説明を受けた。

ロンドンでは、オリンピックを契機に活気づいており、都市力の評価もニューヨーク、パリに次いで、これまで3位であったが、パリを抜いて2位になったこと、サッチャー政権で大ロンドン市の改革が行われたが、その後、再び、大ロンドン市制に戻されたこと、金融機関が集中しているシティー、産業・経済状況などの説明を受けた。また、イギリスでは、スコットランドの独立問題が湧き上がっており、国民投票が行われることなど、日本ではあまり話題になっていないが、大変重要な課題に直面していることなども聞いた。

各都市訪問前にそれぞれの基礎的な状況を理解した上での調査地訪問となり、大変効果的であり、有効な事前調査となった。同じヨーロッパの国であり都市であるが、それぞれの地域特性、国民性、経済状況等が大きく各政策に反映され、影響を与えており、興味深く説明を聞くことができた。各都市から学んだ成果を今後の都政に生かしていきたい。